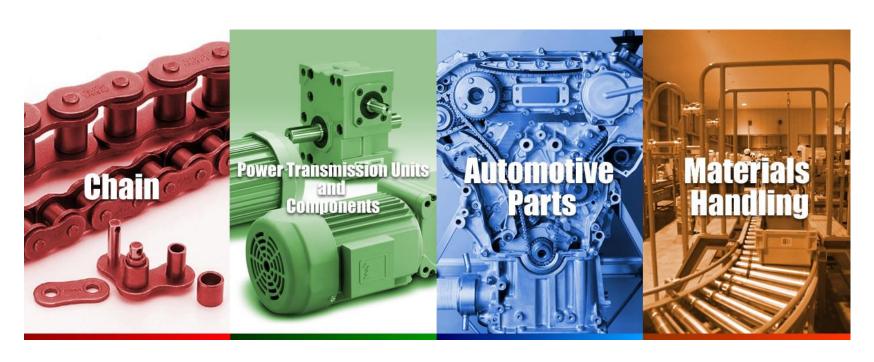


株式会社椿本チエイン 2016年3月期 第2四半期決算説明会



2015年11月16日

2016年3月期 第2四半期 連結業績報告

注)本資料で表記する「上期」は、当該連結会計年度における4月1日~9月30日、 「下期」は、同10月1日~翌3月31日を示します。

(海外子会社の一部は、上期:1月1日~6月30日、下期:7月1日~12月31日となります)



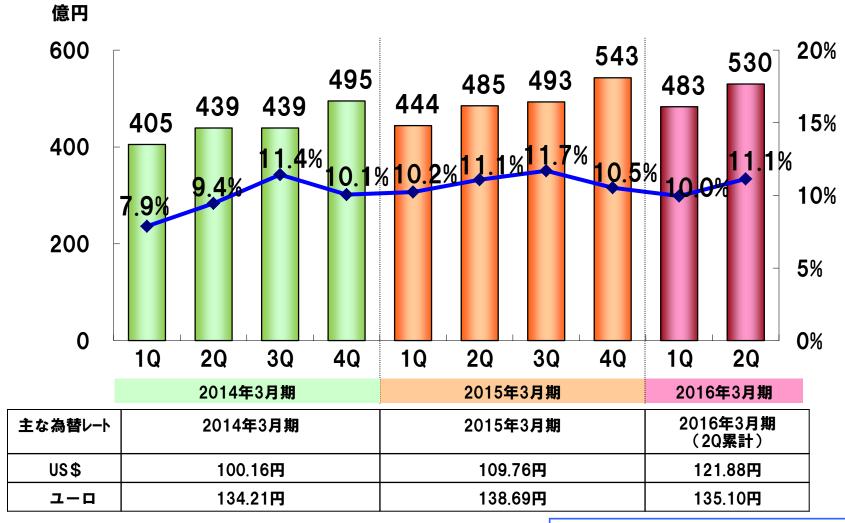
1. 上期レビュー 連結決算ハイライト

■ 前年度に続き、上期ベースでの過去最高を更新 (売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益)

				(単位	<u>:百万円)</u>
	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	期初予想	思比
	上期実績	上期実績	増減率	予想値	増減率
売上高	92,948	101,488	9.2%	100,000	1.5%
営業利益	9,922	10,727	8.1%	10,100	6.2%
営業利益率	10.7%	10.6%		10.1%	
経常利益	10,416	11,362	9.1%	10,400	9.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,578	7,232	9.9%	6,900	4.8%
1株当り四半期純利益	35.16円	38.66円	_	36.88円	_
(為替レート 1US\$)	103.01円	121.88円	_	_	_
(為替レート 1EURO)	138.89円	135.10円	1		_
自己資本比率	52.6%	55.4%	自己資本/総資	産	
ネット D/E レシオ	0.13倍	0.07倍	(有利子負債-	現預金)/自己資	本

2. 上期レビュー 四半期毎連結業績の推移

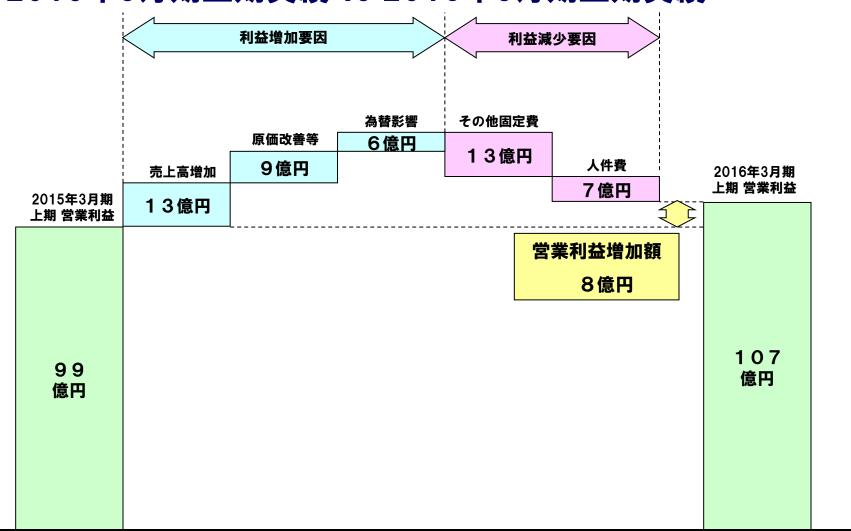
■ 売上高、営業利益率の推移(連結)





3. 上期レビュー 連結営業利益増減要因分析

■ 2015年3月期上期実績 vs 2016年3月期上期実績



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。



4. 上期レビュー 事業セグメント別業績

■ チェーン、マテハンが増収増益。

自動車部品は増収も、先行投資の影響等で減益。

(単位:百万円)

					(十四、	, ш/ліл/
		2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	期初予	想比
		上期実績	上期実績	増減率	予想値	増減率
	売上高**注1	29,694	32,498	9.4%	31,800	2.2%
チェーン	営業利益	2,354	3,128	32.8%	2,800	11.7%
	営業利益率	7.9%	9.6%		8.8%	
	売上高※注1	11,200	11,081	▲ 1.1 %	11,300	▲ 1.9%
精 機	営業利益	1,119	1,212	8.3%	1,100	10.2%
	営業利益率	10.0%	10.9%		9.7%	
	売上高※注1	32,490	35,821	10.3%	35,300	1.5%
自動車部品	営業利益	6,168	5,915	▲ 4.1 %	5,800	2.0%
	営業利益率	19.0%	16.5%		16.4%	
	売上高※注1	19,484	22,158	13.7%	21,400	3.5%
マテハン	営業利益	209	481	129.3%	400	20.3%
	営業利益率	1.1%	2.2%		1.9%	
	売上高 ^{※注1}	1,427	1,424	▲ 0.3%	1,400	1.7%
その他 ^{※注2}	営業利益	47	20	▲ 57.7%	0	_
	営業利益率	3.3%	1.4%		0.0%	

※注1 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2: 「その他」は、報告セグメントではありません。



5. 上期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

●チェーン事業



<地域別>

- ・日本、北米は堅調に推移。
- ・欧州は、為替が円高となるも 増収増益を確保。
- ・アジアは概ね堅調に推移。
- ・中国は前年同期比で増収となったが、 予想比では未達。

●精機事業



<地域別>

- ・日本は堅調に推移。
- ・ 中国の天津子会社、上海子会社が不調。



5. 上期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

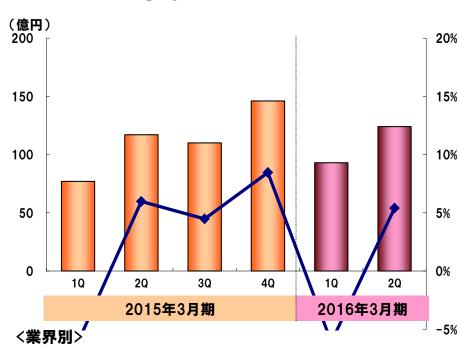
●自動車部品事業



<拠点別>

- 日本は海外子会社向けの生産が好調。
- ・中国、韓国が好調を維持。
- ・米国、欧州、タイは前年同期比では増収だが 2Qは1Q比で減少傾向。

●マテハン事業



- ・ 自動車、新聞、ライフサイエンス、流通向け などが好調。
- ・ 工作機械向けコンベヤは国内、米国が好調、 欧州は不調。
- ・ 粉粒体搬送設備は堅調に推移。

単位:億円 、 | | : 売上高 、 | ---- : 営業利益率



6. 上期レビュー 所在地別業績

				(単位:百万円)
		2015年3月期	2016年3月期	前期比
		上期実績	上期実績	増減率
	売 上 高 ^{※注}	22,573	26,335	16.7%
米 州	営業利益	2,220	2,428	9.3%
	営業利益率	9.8%	9.2%	
	売 上 高 ^{※注}	11,932	12,456	4.4%
欧州	営業利益	137	276	101.9%
	営業利益率	1.1%	2.2%	
	売 上 高 ^{※注}	5,129	6,113	19.2%
環インド洋	営業利益	773	845	9.4%
	営業利益率	15.1%	13.8%	
	売 上 高 ^{※注}	6,686	7,888	18.0%
中国	営業利益	583	209	▲ 64.1%
	営業利益率	8.7%	2.7%	
	売 上 高 ^{※注}	3,365	4,071	21.0%
韓国・台湾	営業利益	260	189	▲ 27.2 %
	営業利益率	7.8%	4.7%	
	売 上 高 ^{※注}	57,417	60,405	5.2%
日 本	営業利益	5,572	6,059	8.7%
	営業利益率	9.7%	10.0%	

※注 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>

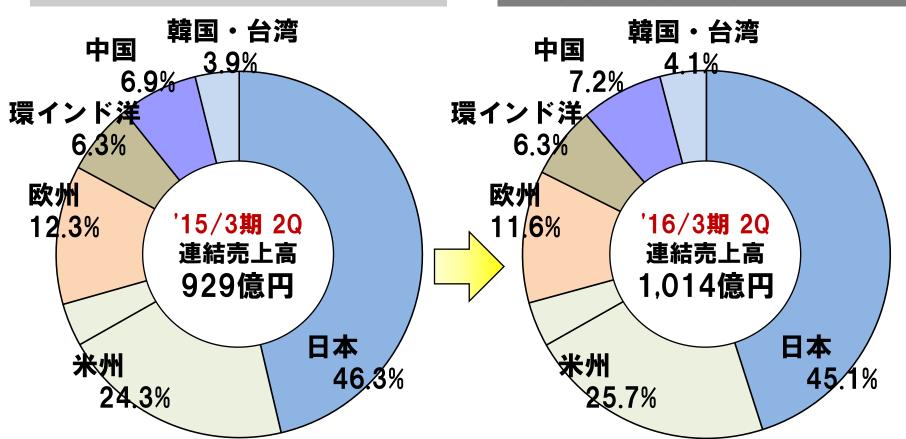


7. 上期レビュー 地域別売上高比率

2015年3月期 第2四半期

海外売上高*比率:53.7%

2016年3月期 第2四半期 海外売上高*比率:54.9%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。



2016年3月期 通期連結業績予想

1. 16年3月期 通期連結業績予想

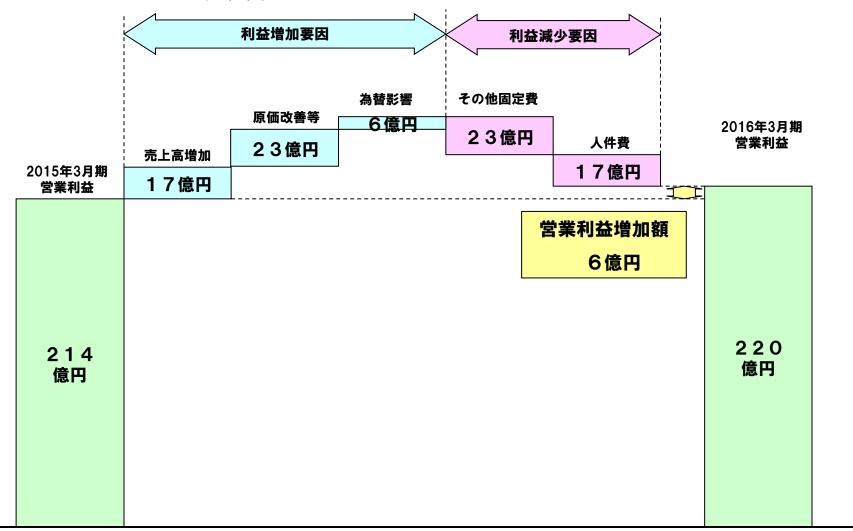
■ 足下の業況等を鑑み、通期業績は期初予想を据え置き。

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比
	実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減率
売 上 高	196,738	101,488	104,512	206,000	4.7%
営業利益	21,427	10,727	11,273	22,000	2.7%
営業利益率	10.9%	10.6%	10.8%	10.7%	
経常利益	22,263	11,362	11,038	22,400	0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,153	7,232	7,768	15,000	6.0%
1株当たり当期純利益	75.65円	38.66円	-	80.17円	_
(為替レート 1US\$)	109.76円	121.88円	_	115.00円	_
(為替レート 1EURO)	138.69円	135.10円	_	125.00円	_
1株当たり配当金(円)	16.00	10.00	10.00	20.00	
配当性向(連結)	21.2%	_	-	24.9%	

2. 16年3月期 連結営業利益増減要因分析

■ 2015年3月期実績 vs 2016年3月期予想



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。



3.16年3月期事業セグメント別業績予想

(単位:百万円)

					(+1	<u> </u>
		2015年3月期		2016年3月期		前期比
		実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減率
	売上高※注1	61,721	32,498	31,702	64,200	4.0%
チェーン	営業利益	5,002	3,128	2,572	5,700	14.0%
	営業利益率	8.1%	9.6%	8.1%	8.9%	
	売上高※注1	22,557	11,081	12,219	23,300	3.3%
精 機	営業利益	2,400	1,212	1,188	2,400	0.0%
	営業利益率	10.6%	10.9%	9.7%	10.3%	
	売上高 ^{※注1}	66,978	35,821	37,679	73,500	9.7%
自動車部品	営業利益	11,916	5,915	6,285	12,200	2.4%
	営業利益率	17.8%	16.5%	16.7%	16.6%	
	売上高 ^{※注1}	45,169	22,158	22,442	44,600	▲ 1.3%
マテハン	営業利益	1,940	481	1,119	1,600	▲ 17.5%
	営業利益率	4.3%	2.2%	5.0%	3.6%	
	売上高 ^{※注1}	2,968	1,424	1,576	3,000	1.1%
その他 ^{※注2}	営業利益	123	20	A 20	0	▲ 100.0%
	営業利益率	4.1%	1.4%	▲ 1.3%	0.0%	

※注1 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2:「その他」は、報告セグメントではありません。



「中期経営計画2016」進捗



1. 課題の進捗 新商品の開発

■ パワトラ商品(チェーン・精機)

◆ 創業100周年モデル「G8」シリーズの開発、発売



商品名		特長	
ネプチューン [®] (2015年 6月発売)	耐環境 チェーン	・耐薬品性向上	
ラムダチェーン (2015年10月リニューアル発売)	無給油 チェーン	・摩耗寿命が2倍	Colodo de de de
スーパチェーン (2016年度リニューアル発売予定)	強力 チェーン	・疲労強度向上 ・摩耗寿命向上	manage.

- ◆ アプリケーションのグローバル展開
 - ① 港湾クレーン用パワーシリンダ
 - ② トレーパッカー用チェーン





1. 課題の進捗 新商品の開発

■ マテハン (開発中の商品)

商品	名	コンセプト	
(次期) リニソート®	流通向け 高速自動仕分け機	・小シュートピッチ ・高速コーナー搬送 ・低衝撃 ・高システム能力	
ラボストッカ®150	ライフサイエンス向け 冷凍自動保管庫	・世界初-150℃での 曝露レスピッキング	
AGV Mark I -e	新聞巻取紙給紙用 無人搬送台車	・初期納入機の更新対応 ・エコ化推進 ・モバイル機器操作対応	
(次期) 塗装ライン 搬送システム	自動車製造ライン 搬送設備	・シンプル&安価	

2. 課題の進捗 グローバル生産能力強化

■ 自動車部品海外拠点の増強

拠点名		概要
椿本鏈条(天津)第2工場	中国	・新工場開所式(2015年6月)・生産開始(2015年8月)
Tsubaki Automotive Czech Republic s.r.o.	チェコ	・新会社設立(2015年7月) ・新工場 生産開始(2017年予定)
U.S. Tsubaki Automotive, LLC	アメリカ	・生産能力増強

■ チップコンベヤのグローバル展開

◆ 主要製造拠点 5 極化 (日本、米州、欧州、環インド洋、中国)



- ・製造拠点のグローバル活用により、顧客のグローバル化を図る
 - (1) 欧州、中国でのメイフラン、ツバキカーベルシュレップ工場の一体運営
 - ② インドネシア新工場の活用



3. 16年3月期 設備投資・減価償却費

■ 主な設備投資

- ① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化(中国、米国ほか)
- ② チェーン事業の生産設備関連(京田辺工場ほか)

■ 設備投資と減価償却費の推移

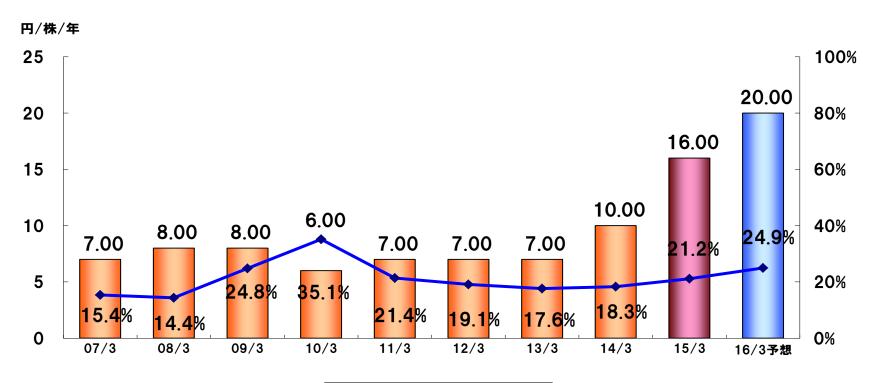




4. 配当金、連結配当性向

■ 配当方針について

- ・連結配当性向30%を目標とし、 2017年3月期までの実現を目指す。
- 1株当たり配当金、連結配当性向の推移



■■1株当たり配当金



━━配当性向

本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は 各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的 であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実 現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。

